

宝塚市校務支援システム更新事業に係る

提案書等作成要領



令和6年（2024年）5月

宝塚市教育委員会

## 1 趣旨

本提案書等作成要領は、宝塚市校務支援システム更新事業において、企画提案書等の作成に当たり、必要な事項を定めるものです。

## 2 提出書類・必要部数

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| (1) 提案提出書（様式 6）           | 正本1部       |
| (2) 見積書（様式 5）             | 正本1部、副本10部 |
| (3) 企画提案書（任意様式）           | 正本1部、副本10部 |
| (4) デモンストレーション動画（DVD-R）   | 正本1部、副本10部 |
| (5) デモンストレーション操作手順書（任意様式） | 正本1部、副本10部 |

※ 上記(1)から(3)及び(5)を含むCD-R（DVD-Rでも可）を1部提出すること。

## 3 企画提案書等の構成

### (1) 企画提案書

企画提案書は次の書類で構成し、(1)から(5)の順に並べA4縦ファイルに綴じ、指定部数を提出すること。

#### (1) 企画提案書（任意様式）

※両面印刷で 50 ページ程度までを目安とすること。（表紙、添付様式は前記ページ数には含めない。）

- (2) 導入スケジュール（様式 7）
- (3) 運用支援体制（様式 8）
- (4) 機能要件兼回答書（様式 9）
- (5) 帳票要件兼回答書（様式 10）
- (6) カタログ等

### (2) デモンストレーション動画

デモンストレーション動画は、「6. デモンストレーション動画の説明項目」の内容を含んだ動画を作成し、指定部数を提出すること。動画時間は、20分程度とすること。また、動画を分割する場合は、1本あたりを10分程度とし、合計20分程度とすること。

※ 動画のファイル形式は、Windows10及び11標準パソコンで視聴できる形式であること（mp4形式など）。

### (3) デモンストレーション操作手順書

デモンストレーション操作手順書は、実際に校務支援システムを使用し審査するために、「7. デモンストレーション操作手順書の記載内容」の内容の操作手順書を作成し、指定部数を提出すること。

#### 4 企画提案書類の規格等

- (1) 企画提案書は、A4版左綴じ、文字の大きさは11ポイント以上とし、ページ番号を付けること（表紙、目次はページ数には含めない。補足資料はページ数に含める。）。  
なお、補足資料等においては必要に応じA4横、A3横も利用できるものとする。
- (2) 様式等が示されたものは、その様式を用い作成すること。
- (3) 目次を付すこと。
- (4) CD-Rに書き込むファイルの形態は、市が示した様式等によるものはそのファイル形式を変更しないこと。また、それ以外は、PDFファイルとして作成すること。
- (5) 記述内容については、専門的知識を有しない者に対する配慮をし、専門用語や略語等においては、説明書を付けるなどの配慮をすること。

#### 5 企画提案書の記載項目

##### (1) 企画提案書の構成

別添「調達仕様書」に基づき、以下の章立てで作成すること。

- 第1章 基本方針
- 第2章 基本機能
- 第3章 システム要件
- 第4章 セキュリティ要件
- 第5章 機能要件
- 第6章 帳票要件
- 第7章 運用支援業務
- 第8章 その他

##### (2) 各章の記載内容

###### 第1章 基本方針

1. 提案システムシステムの特徴について、記述すること。
2. 本事業の目標を達成するための考え方やその手法について記述すること。
3. その他、提案者の提案の考え方を記述すること。

###### 第2章 基本機能

1. 提案システム各機能の概要および特長について、記述すること。

###### 第3章 システム要件

1. データセンターの概要、特長について、記述すること。
2. 安定的なシステム稼働にかかるシステム構成や仕組みについて、記述すること。

3. ログ管理について、記述すること。
4. バックアップについて、記述すること。
5. システムのバージョンアップ、リリースについて、記述すること。
6. 外字について、記述すること。
7. 情報出力（教育委員会向け）について、記述すること。
8. 教育データ利活用について、記述すること。

#### 第4章 セキュリティ要件

1. 校務支援システムの安全かつ安定的な利用を可能とする仕組みを提案すること。
2. ゼロトラスト環境下での利用について、必要なセキュリティ要件について、記述すること。

#### 第5章 機能要件

1. 学校間のデータ連携について、市内転出入と進学時に、学校間で連携できる情報と連携方法等を記述すること。
2. 電子保存について、指導要録・健康診断票等の公簿の扱いや運用方法等を記述すること。
3. ダッシュボードについて、可視化できる内容、集計単位等を記述すること。
4. 保護者アプリについて、送受信できる対象や情報、校務支援システムの連携できる情報等を記述すること。
5. 学習系システムとの連携について、連携できる情報や連携方法等を記述すること。

#### 第6章 帳票要件

1. 帳票に関する考え方や対応について、記述すること。

#### 第7章 運用支援業務

1. 校務支援システムの運用支援体制を「運用支援体制」（様式8）に図示すること。
2. 上記、運用支援体制について、本業務を遂行するに当たり、以下の業務について、運用支援の具体的な業務内容や進め方を示すこと。
  - ① ヘルプデスク  
対応内容、時間等、具体的に明記すること。また、問い合わせ元（教育委員会、教職員など）についても明記すること。
  - ② 研修  
研修内容、研修対象（管理職、教員など）、研修方法（集合研修、訪問研修、動画研修等）、研修回数、研修時間等、具体的に記述すること。
  - ③ 保護者サポート  
保護者アプリへの登録、使用方法等のサポートについて、マニュアル、問い合わせ窓口等、サポート内容を具体的に記述すること。
  - ④ システムメンテナンス  
システムメンテナンスを実施する場合の考え方について、実施日（年末年始等）、実施時間等、具体的に記述すること。

⑤ システム設定支援

導入時等の本市システム環境における各種設定 (Microsoft Entra ID (旧称 Microsoft Azure Active Directory) でのシングルサインオン (SSO) 設定等) について、支援できる内容、手順等を明記すること。

⑥ その他

本調達に係る運用について、教育委員会担当者及び教員の利活用を支援するサービスがあれば、提案すること。サービス内容については、具体的な方法、手順等を記述すること。

## 第8章 その他

1. 追加オプションの概要を記述すること。
2. 追加オプションの具体的な利用イメージ、効果等（児童生徒・教員等に対する）を記述すること。

## 6 デモンストレーション動画の説明項目

別添「調達仕様書」に基づき、以下の章立てで作成すること。

(1) システムの特徴

(2) システム利用イメージ

- ① 名簿機能利用イメージ（名簿の一括登録を含む）
- ② 成績機能利用イメージ（教科の素点入力（中のみ）、評価・評定入力、通知表・指導要録の作成を含む）
- ③ 保健機能利用イメージ（身体測定結果の入力を含む）
- ④ 勤怠機能利用イメージ（出退勤の打刻を含む）
- ⑤ 保護者アプリ利用イメージ（学校の操作・保護者の操作を含む）

(3) その他

その他、本市にとって有効な機能、サービス等があれば、説明すること。

## 7 デモンストレーション操作手順書の記載内容

校務支援システムを初めて使用する場合でも操作できるよう、以下の操作ができる手順書を作成すること。

- (1) 名簿登録（児童生徒の入力、一括登録）
- (2) 成績入力（教科の素点入力（中のみ）、評価・評定入力、通知表・指導要録の作成）
- (3) 保健入力（健康診断結果の入力、成長曲線の作成）
- (4) 勤怠入力（出退勤の打刻、各種申請）
- (5) その他、本市にとって有効な機能